

印刷業界の新技术情報を三美印刷がお届けするメールニュース

sanbi-i-com 2008年12月号(No.100)

CO2 排出量削減とカーボンフットプリント ▲

地球温暖化対策、CO2 排出量削減が、いま社会全体で取組んでいかななくてはならない国際的な課題となっています。CO2 排出量削減の基本的な流れは、(1)排出量の現状把握を行う(「見える化」を図る)→(2)あらゆる削減努力を行う(削減目標の設定、PDCA での改善努力、環境技術の向上など)→(3)それでも不可避な部分については代替手段で相殺する(カーボンオフセット、グリーン電力の活用など)となっています。「カーボンフットプリント」はそのうちの現状把握・「見える化」対策の一つで、12月11日～12日に開催された「エコプロダクツ 2008」でも多数サンプル出展されていました。

「エコプロダクツ 2008」でカーボンフットプリント商品が多数サンプル出展



■地球温暖化問題とCO2 排出量の削減

(1) 世界中の科学者の知恵を結集して作成された国連・気候変動に関する政府間パネル(JPCC)の「第四次評価報告書」では、「CO2 など温暖化ガスの濃度の上昇が、気候変動原因であることはほぼ確実である」とされ、「産業革命前と比べて気温が2度以上上昇すると、突然のあるいは非可逆的現象が引き起こされる危険がある」と警告しています。

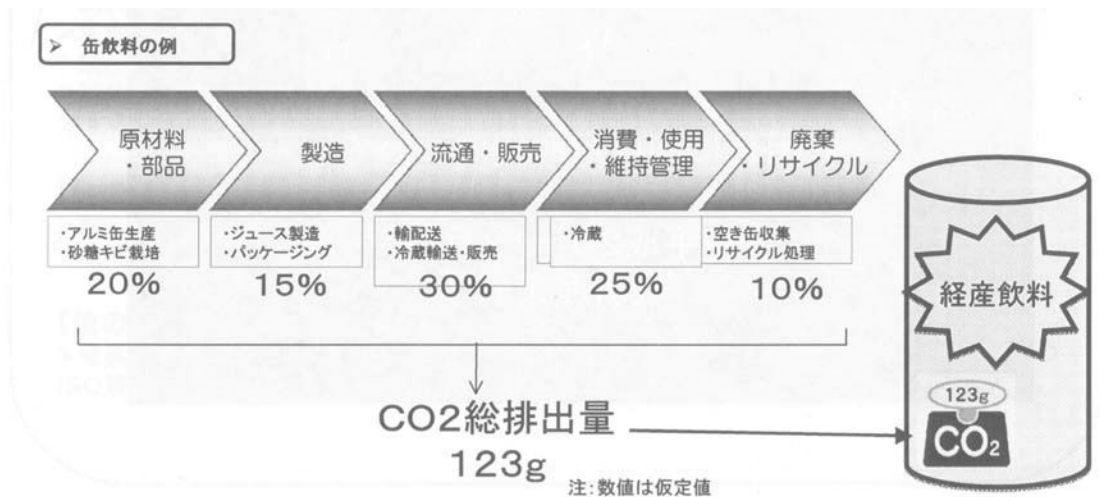
(2) そのために、地球温暖化抑止の国際協定である「京都議定書」が定めた温室効果ガス削減の第一約束期間が今年からスタートし、2013年以降の新しい行動計画を来年末までにつくる国際的な検討作業が進められています。

地球温暖化対策、CO2 排出量の削減は、日本の政府、企業、個人にとっても緊急に取り組むべき課題となっています。

■CO2 排出量削減とカーボンフットプリント

(1) 「カーボンフットプリント」とは、「商品のライフサイクル全般（原材料調達から廃棄・リサイクルまで）で排出された温室効果ガスの合計量を CO2 量で表したものです。政府はカーボンフットプリント制度を普及することにより、事業者や消費者の CO2 削減努力を促進したいとしています。

カーボンフットプリントの表示例



(2) カーボンフットプリントは、イギリス、フランス、ドイツなど欧州諸国で先行して行われ、日本でも下記のような企業が、実用化・普及に向けた事業に協力しています。

【小売業】

・イオン、西友、セブンアンドアイ、ローソン、日生協、丸井、ユニー、ファミリーマート、CGC

【消費財メーカー】

・サッポロ、カゴメ、ネスレ、カルビー、味の素、日清食品、日本ハム、日清製粉、花王、紀文フードケミファ、ライオン、ユニチャーム、パナソニック、東芝ライテック、コクヨ、大日本印刷、日本テトラパック、東洋製罐、中央化学

■カーボンフットプリント制度実用化に向けた政府の取り組み

(1)カーボンフットプリント制度実用化に向けた政府の取り組みは、経済産業省中心に進められており、2008 年度は下記のような事業が進められています。

- 1) 制度のあり方(指針)の策定→今年 10 月に指針(案)を発表
- 2) CO2 換算合計量の算定・表示方法の明確化
- 3) 制度の構築・普及に向けた課題の整理

この取り組みの一環として今年 11 月に統一マークが発表され、先の「エコプロダクツ 2008」では消費財中心に多くの企業がサンプル出展しました。そして 2009 年～2010 年度には、試行事業を実施し、実際の店頭での流通を開始したいとしています。

また ISO でも 2010 年末制定に向けて、カーボンフットプリントの国際標準化の作業が進められています。

(2)「カーボンフットプリント制度のあり方(指針)案」では、下記のような点が検討・整理されています。

- 1) 商品別算定基準の明確化(算定の範囲、カットオフの基準、配分の考え方など)
- 2) 表示方法のあり方(原則として商品本体または包装資材に貼り付け、削減努力などの追加表示のあり方など)
- 3) 信頼性確保のしくみ(第三者による検証など)

カーボンフットプリントの統一マーク



経済産業省では、地球温暖化を防止するため、商品のライフサイクル全般(原材料調達から廃棄まで)でどの程度CO₂を排出しているかが分かる「カーボンフットプリントの統一マーク」の公募を行い、500を超える応募の中から有識者や専門家の審査で左記統一マークを決定しました。

マークは秤を表しており、秤の上はその商品のライフサイクル全般で排出されるCO₂の合計量が表示されています。

以上のような取り組みもあり、来年あたりから日本においてもカーボンフットプリントラベルを付けた商品を目にする機会も出てくるかも知れません。

- ◆ 今回の sanbi-i-com は、12月16日に行われましたエコ印刷研究会(→用語解説)セミナーの内容を中心にまとめさせていただきました。

<用語解説>

エコ印刷研究会:印刷物を企業活動に使用する発注者の立場で、「地球と調和した印刷物」を通じて環境負荷低減、持続的社会に貢献することを目的に印刷技術の研究や、実態調査、普及活動などを行っている民間団体

<http://eco-ken.com/>

【発行】2008年12月27日 三美印刷株式会社経営企画室

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里5-16-7 TEL:03-3805-7675

URL: <http://www.sanbi.co.jp>